

(様式2)

ながのまちづくり活動支援事業

謝礼金価が2万円を超える場合は、説明資料(書式は任意)を添付して下さい。
(※「Q&A」No.18参照)

記入方法

必要経費

(円)

科目	金額	内訳
謝金・賃金	80,000	講師謝礼(5・6・7・8・9月○○回=50,000円、会場設営アルバイト(○月○日○○@5,000×2日=30,000円)
旅費交通費	46,000	講師交通費(○月○日○○講習)16,000円、○○セミナー○○県○○市(○月○日)3日(1泊2日)○○@2,000×10台、資料紙代・コピー代3,000円
消耗品費	48,000	カラプリンター 20,000円、講習用文房具 2,000円
印刷製本費	70,000	○○通信年3回 @200×100冊×3回=60,000円 写真現像代 @50×200枚=10,000円
広告宣伝費	30,000	○○新聞 広告掲載 30,000円
通信運搬費	31,865	ガイドブック郵送用切手 @140×30枚=14,000円 機材運搬費 27,665円
使用料	5,400	○○センター使用(○月○日○○講習)1,000円 プロジェクター・スクリーン(○月○日○○講習)4,400円
備品購入費	70,000	パソコン 70,000円
合計	A 381,265円	

単価×数量のように具体的に記入してください。

1件当たり税込み
消耗品：3万円未満
備品：3万円以上

科目の内容と財源内訳、積算根拠等についてご記入ください。

自己資金

科目	額	内訳
会費	50,000	年会費 @1,000×50人=50,000円
寄附金・協賛金	50,265	○○区協賛金 50,000円、寄付 265円
参加者負担金	50,265	○○講習会 @500×30人=15,000円
事業収益金	40,000	ガイドブック売上 @200×200冊=40,000円
合計	B 155,265円	

BとCの額を合わせた額がAの額となることを確認してください。

補助金要望額(C)

※補助率・補助限度額

- (新規) A×0.7の金額以下、ただし70万円以内
- (継続2回目) A×0.6の金額以下、ただし60万円以内
- (継続3回目) A×0.5の金額以下、ただし50万円以内

226,000円
(千円未満切り捨て)

要望額が、補助率・補助限度額以内であることを確認してください。
(A-Bの額と補助率・補助限度額を比べて少ない額になります。)